

株式会社 アンウィーブ

http://www.unweave.jp

在宅就労支援システムで、障害者の人材と企業をマッチング

能力はあるのに働ける環境がない障害者。IT化推進に適した人材が不足している企業。双方の思いをドッキングさせたのがアンウィーブのシステムです。身体の障害の有無に関係なく、能力と適性に合った雇用創出で、真のノーマライゼーションを提案しています。

偏見を社会から「解きほぐす (unweave)」という意味を持つアンウィーブは、高齢者や障害者、育児中の女性が高度情報化社会を生きるためのビジネスモデルを提供し、自立を支援する会社です。ITを活用したSOHO及び就労管理システムなどを開発、企業や団体とマッチングをして、誰もが誇りを持って働けるノーマライゼーション社会の実現を目指して取り組み、「平成16年度障害者雇用職場改善好事例」優秀賞を受賞しました。また、2004年7月には関西の中小企業の支援を目的にNPO法人「オービット関西」を設立。ビジネスマッチングの支援なども行っています。

名称：株式会社アンウィーブ
 設立：2003年2月
 事業内容：誇りを持って働きたい人の支援事業
 所在地：大阪府大阪市西区鞠本町2-2-17 RE006-401
 TEL.06-6479-1303
 FAX.06-6479-1301
 ホームページ：http://www.unweave.jp

有能な人材を在宅で活用する画期的なSOHOシステム

ずいぶん前から重度身体障害者の方にWebデザインなどコンピュータ技術を指導してきて、優秀な人材がたくさんいるのに働ける環境がないという現状をなんとかしたいと思ってきました。そこで通勤困難な障害者の方が在宅勤務できるシステムを開発したわけです。

「アンウィーブシステム」は、ホームページの制作・運営や社内管理システムの構築・運営などをすべての人がやさしい操作でできます。しかも、在宅でそれを維持管理できる仕組みと在宅の勤務管理ができる仕組みとを合わせて提案した、システムとなっています。企業にとっても優秀な人材を確保できるし、設備に助成金も受けられますから、企業本体のスリム化にもつながるメリットがあります。



代表取締役 牧文彦さん

このシステムを使った第一号がアンウィーブの在宅勤務者でもある東秀樹さんです。東さんは重度の視覚障害があるのですが、視覚障害者のための検索エンジン「アイリンク」を一緒に開発し、現在その管理・運営をもやっています。まさに彼だからこそのシステムであり、視覚障害者が運営する検索エンジンは世界でも初めてかもしれません。

企業と障害者をつなぐマッチングの重要性

企業が障害者の在宅雇用には踏み切れないのは、障害者のことがわからないことも大きな要因だと思います。そこで大事になるのが人材と企業のマッチングです。私達は企業から問合せが来ると、システム導入の説明と同時に、障害者の職業能力開発校の見学に行きます。自分の目で能力や作業状況を見ていただくと、不安が解消しますからね。社名の通り、先入観や偏見を取り払う、それも私達の大きな役割だと思います。このアンウィーブシステムの導入による企業への障害者の正社員雇用は東さんを含めて12人目になりました。大阪って得なことしかありませんから、東京だったら10倍ぐらいになると思います。雇用をもっと広めたいですね。



アンウィーブ WEBトップ画面

雇用の現状

在宅就業数	1名	雇用契約	月給
障害の状況	視覚障害(障害者手帳1級)	勤務時間	9:30~18:30
身分	正社員	コミュニケーション	インターネット、電話、出社
業務内容	視覚障害者のための検索エンジン「アイリンク」の管理・運営		
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・アンウィーブで開発したシステムがあれば、簡単に在宅雇用の環境を作ることができる ・あとは本人のモチベーションが重要。会社の打合せやお客様との直接のコミュニケーションの場を設けたりしながら新しい情報を常に与え続けること ・次に問題やテーマを打ち出し、納期を決めながら解決提案を求めていく 		

アンウィーブの仕組み



PICK UP!



「アイリンク」ウェブマスター 東秀樹さん 全盲(障害者手帳1級)

盲学校卒業後、アルバイト的に治療院で鍼灸をしていたときに右手が麻痺してしまったんです。その頃に指を動かすリハビリのつもりでパソコンを始めたのが転機でした。大阪障害者職業能力開発校のOAビジネス科に通い、就職活動で20社受けましたが全滅でした。それで自分でオンラインショップを運営できないかなと思って、職業能力開発校の講師でもあった社長に相談したのがきっかけで、ナビの運営をしようということになったわけです。それで視覚障害者のための新しいビジネスモデルとして検索エンジン「アイリンク」を共同開発しました。視覚障害者の使い勝手は私が一番よくわかりますからね。今はその運営・管理を在宅

でしています。サイトの管理はみんなに見てもらえるのでやりがいがあります。仕事をする中でいろんな出会いもありますし、とにかく何事も思いいたら動いてみることです。動く人と人ぶつかって何かに巡り合う。じっとしてたら何も変わらないですから。

